

## 令和2年度 入学式 学校長式辞

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

春爛漫の季節に、357名の新入生の皆さんをお迎えし、本日、学校法人・関西金光学園「金光藤蔭高等学校」、令和2年度入学式を挙行できますことは、誠に喜ばしい限りであります。

新型コロナウイルスの影響で入学式の実施が危ぶまれましたが、新入生の皆さんにとっては一生に一度の大事な高等学校入学式であります。式を2回に分けたり、来賓参列をお断りして、式場参列者の数を抑え、さらに時間も短縮しながら、入学式自体は厳粛に実施させていただくことといたしました。

保護者の皆様には、義務教育の課程を卒業し、ここに高校生活のスタートを切るお子様の、今後の可能性と精進に期待して、本日のご入学を心よりお祝い申し上げます。

今、本校の制服に身を包んだお子様を見られ、これまで15年間のご家庭での温かい育みを思い出し、感慨も一入のことと拝察いたします。

私ども学校では、入学されたお子様の教育、学力の向上のみならず、人間としての成長、そのことに、全力で取り組みたいと思います。

ただ、お子様の成長全体を考えますと、ご本人自身の意識がもちろん重要で、併せて、ご家庭の役割は極めて重要となります。

昨今は、「スマホやゲーム等にのめりこみ、依存傾向・依存症として、大きく生活リズムを壊し、心身に症状をきたしているケース」や、「ご家庭での挨拶やコミュニケーション不足が集団生活・社会生活への不適應をきたしているケース」を、多々見受けます。

「睡眠・起床・食事等の正しい生活習慣」や「学習への姿勢」、「挨拶や会話の習慣」等、それらのことに、まずご家庭でも力を入れていただくことが、本日ご入学のお子様の、今後の可能性を拓げていくことに繋がります。どうぞ、この点をお願いいたします。

また、保護者の皆様には、学校の様々な活動の良き理解者として、担任や学年担当者と様々なことを相談し合いながら、一緒に「力を合わせて」取り組んでいただきたいと思います。どうぞ、これから、よろしくお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、本校へのご入学、誠にありがとうございます。

「金光藤蔭高等学校」は大正15年(1926年)の創立で、本年度は創立94年目となる歴史を持つ学校です。本校は、「生徒一人ひとりを大切にする学校」として、生徒の可能性を最大限に伸ばしながら、進化・発展を続けています。

校門を入るとすぐ左手に本校「建学精神」の碑があります。建学の精神は、「天地の大徳に生かされ、多くの人々に育てられていることに、感謝の念を持ち、社会でお役に立つ人間となる」ことです。

ところで、皆さんの入学にあたって、私が皆さんに最も期待したいことは、これからの3年間の「心の成長」です。

「過去は変えられない、しかし未来は創っていける」という言葉があります。本日から高校生としてスタートする君達に、「心を成長させ、未来を創る」ために大切な3つのことを話します。

1つ目は「目標」です。

しっかりとした前向きな「目標」を持つことが大切です。その目標は、自分を伸ばし、自分を社会の中で役立てる目標でなくてはなりません。そして、その「目標」に向けて、高校に入学した今から努力することを実行できるかどうか、それがなにより重要です。そのような前向きな「目標」を、是非持ってください。

2つ目は「学び」です。

君達はまさに成長過程の真っ只中です。「目標」を達成するために、授業を通して学び、学校生活での様々な活動を通して学んでいただきたい。広く・深く知識を吸収し、さらにその知識を知恵に代えることが大切です。「学び」は身近な努力の積み重ねから始まります。一日一日の学習の積み重ねと、友達との良い関係作りに力を尽くしてください。

3つ目は「感謝」です。

人は、決して、自分一人で生きているわけではありません。私達は、天地自然や色々な人・物の支えによって生かされています。周りの方々や社会に対して「感謝」の気持ちを大切にしていきたい。常に、自分の心を大きく開き、素直な心・温かい心で、君達の世界を心豊かに広げていってください。

以上の「目標」「学び」「感謝」が、君達が「未来を創る」ために大切な3つです。毎日の勉強や学校生活のことで悩んだり、行き詰ったりすることがあったら、担任の先生や、色々な先生方に相談しながら、本校での3年間をしっかりと歩んでください。

それでは、もう一度、「新入生の皆さん、ご入学、おめでとう！」

本校での3年間、大いに学び、大いに鍛え、大いに友情を育み、人間として大きく成長してください。3年後の春に、皆さん全員が、自分の将来に向けて大きく羽ばたくことができるものと、期待しています。

以上をもちまして、入学式の式辞といたします。

令和2年4月7日

学校法人 関西金光学園 金光藤蔭高等学校

校長 安元祥二